

理工学部学術講演会小史

理工学部学術講演会実行委員会委員長
航空宇宙工学科教授 宮崎 康行

理工学部学術講演会は、昭和 25 年に第 1 回が開催されて以来、途中大学紛争中などの 7 年を除き、毎年、開催されてきました。そして、今回は第 60 回を迎えることとなりました。表 1 にある通り、昭和 30 年代には部会数が 10 前後、講演件数は 200 件に満たなかったものが、現在では部会数が 17、講演数は 600~700 件程度、参加者も 2,000 名を超える、一般の学会と比べても規模の大きい講演会に成長しました。部会内もいくつかのセッションに分かれており、今年度は表 2 にある通り、29 のセッションが設けられました。ここまで大きな講演会となったのは、ひとえに、学生による発表が増えたことによります。特に、第 50 回記念大会の際、発表形式をそれまでの口頭発表のみからポスター発表も加えたこと、学生による優秀な発表を表彰する制度を設けたことで、学術講演会は大学院生のみならず学部生の研究発表の場として、理工学部にしかりと定着しました。表 3 にある通り、表彰制度も拡大し、受賞者数は、当初は 40 名弱だったものが、一昨年度は 99 名、昨年度は 85 名と、100 名に迫る勢いとなっています。

第 50 回の実行委員長でいらっしゃった伊藤洋一先生は、学術講演会の果たすべき役割として、次の 6 つを挙げられています。

- 1) 広く学内外に研究成果発表の場を提供すること
- 2) 特に若手研究者、大学院生及び学部生の研究成果発表の場を提供すること
- 3) 学会発表への登竜門としての場を提供すること
- 4) 学会への論文投稿の足がかりとしての場を提供すること
- 5) 在学生（できれば高校生も）が種々の研究成果に触れる場を提供すること
- 6) 学外からも注目されるような研究成果発表の場にする

こうしてみると、これら 6 つのうち、1) の他、少なくとも、2), 3), 5) の役割は十二分に果たしているといえるのではないのでしょうか。

一方、6) に関しては、学術講演会では、毎回、特別セッション等を設けています。内容は、表 4 にある通り、主に、次の 3 つに分類できます。

- ① 理工学部学術賞記念講演
- ② 理工学部内競争的研究資金による研究の成果報告、経過報告、および、キックオフシンポジウム等
- ③ 学外の競争的研究資金による研究の成果報告、経過報告、および、キックオフシンポジウム等

特に、②と③の一部は、理工学研究所講演会として開催しています。③は、理工学部において行われている活発な活動を反映しており、上記の役割 6) を果たすためには、②はもとより、③をより充実し、学外の研究者により多く足を運んでいただける講演会にしていくことが肝要でしょう。また、役割 4) についても、論文投稿の足がかりとするためには、自身の研究をより多くの専門家の目に晒すことが重要ですので、学外（学部外）の研究者の参加を増やすことが必要です。

こうしてみると、この 10 年で、学術講演会は学生の研究成果発表の場として定着しましたので、次の 10 年は、学外（学部外）の研究者の参加者を増やすことに力を入れてゆくことが大切かと思われまます。そうすることで、おのずと、学術講演会は役割 4) や 6) を果たすことができるように

なるのではないのでしょうか。

そのためには、例えば、教員が関係している学外のプロジェクト等に関する講演や、委託研究や科研費をはじめ各省庁の研究資金による活動の成果発表、途中経過発表の場を積極的に設けることが考えられるでしょう。

ただし、それには問題がないわけではありません。ちょっと考えただけでも、

- (1) 国内外の学会が増加している昨今、学外からの参加者を増やすためには開催日をいつにするのが適切であるのか
- (2) 駿河台1号館は既に収容人数の面でほぼ限界に達していること
- (3) 多くの教員が司会や学生表彰の審査員、実行委員等の作業に係わっていて、上述のような学外プロジェクト等の公演や学外研究資金による研究に関する発表を行う、あるいは聴講する時間的余裕がない

などといった問題点が思い浮かびます。こういった開催上の問題点を克服し、学外参加者増を実現することが、今後の課題といえるでしょう。

いずれにしても、そうやって、学外の研究者の方々にも気軽に参加していただいてフランクに議論できるような場が理工学部内にあれば、それはとても楽しいことであろうと想像できます。上述の通り、学術講演会は、現状でも一定の役割を果たしていますので、現状維持も可能かとは思いますが、今後も学術講演会を続けていくのであれば、さらなる一歩を踏み出してもよい時期にきているのではないかと思います。

表1 理工学部学術講演会 年表

回	開催日	部会数	講演数	懇親会(講演会)	備考
1	S25				資料不詳
2	S26				
3					
4	S29				
5	S30				
6	S31				
7	S34				
8	S35.12.17~18	8	114	理工5号館/12.18	特別講演 12.17/歯学部大学院
9	S36.11.11~12	10	153		
10	S37.11.11	11	140		
11	S38.11.10	12	190		
12	S39.11.6~7	12	176		特別講演 11.6
13	S40.11.12~13	12	208		特別講演 11.12
14	S41.11.11~12	12	199		特別講演 11.11
15	S42.11.10~11	12	254		特別講演 11.10
16	S47.11.22	11	183		
17	S48.11.17	14	233	理工9号館	理工学研究所主催となる
18	S49.11.16	15	249	理工1号館	
19	S50.11.15	15	268		
20	S51.11.13	15	279		
21	S52.11.12	15	314	理工1号館	
22	S53.11.25	15	322	経団連会館	理工学部学術賞制定
23	S54.11.17	18	293	経団連会館	
24	S55.11.15	16	339	経団連会館	
25	S56.11.14	16	354	経団連会館	
26	S57.11.13	17	357	経団連会館	
27	S58.11.12	17	374	日本大学会館	
28	S59.11.17	17	365	経団連会館	
29	S60.11.16	17	402	理工スポーツホール	講演会習志野校舎
30	S61.11.15	17	432	経団連会館	
31	S62.11.14	17	415	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 特別講演/901・表彰式/経団連会館 11.13
32	S63.11.19	18	440	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.11/経団連会館
33	H1.11.7	18	413	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.10/経団連会館 理工学部長表彰制定
34	H2.11.17	17	406	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.9/経団連会館
35	H3.11.16	16	490	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.8/経団連会館
36	H4.11.13	17	495	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.6/経団連会館
37	H5.11.19	17	550	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.12/経団連会館
38	H6.11.18	17	594	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.11/経団連会館
39	H7.11.15	17	630	理工スポーツホール	講演会習志野校舎, 表彰式 11.10/経団連会館
40	H8.11.13	17	605	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.8/経団連会館
41	H9.11.12	16	640	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.7/経団連会館
42	H10.11.13	16	636	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.6/経団連会館
43	H11.11.20	17	648	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.5/経団連会館
44	H12.11.25	17	686	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.10/経団連会館
45	H13.11.13	16	674	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.8/経団連会館
46	H14.11.13	17	726	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.8/経団連会館
47	H15.11.19	17	743	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.7/経団連会館
48	H16.11.17	16	705	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.5/経団連会館
49	H17.11.16	16	700	理工スポーツホール	講演会船橋校舎, 表彰式 11.11/経団連会館

50	H18.11.25	16	789	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.10/理工 CST ホール
51	H19.12.1	17	731	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.9/理工 CST ホール
52	H20.11.29	17	782	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.7/理工 CST ホール
53	H21.11.28	17	665	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.5/東京ガーデンパレス
54	H22.11.27	16	659	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.4/東京ガーデンパレス
55	H23.11.26	16	696	理工駿河台校舎 1・7号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.10/東京ガーデンパレス
56	H24.11.28	16	676	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.8/東京ガーデンパレス
57	H25.12.7	16	627	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.21/東京ガーデンパレス
58	H26.12.6	16	674	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.26/東京ガーデンパレス
59	H27.12.5	16	601	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.24/東京ガーデンパレス
60	H28.12.3	16	609	理工駿河台校舎 1号館	講演会駿河台校舎	表彰式 11.24/東京ガーデンパレス

表 2 理工学部学術講演会 部会

S 特別セッション	I 建築計画部会
A 総合科学部会 A1 総合科学 A2 情報教育	J 海洋建築部会
B 構造・強度部会	K 機械部会 K1 加工 K2 燃焼・熱学 K3 流体力学 K4 振動制御 K5 弾性塑性 K6 機械一般 K7 航空宇宙
C 材料・物性部会	L 電気部会
D 環境部会 D1 環境 D2 医療	M 電子部会
E 計測・制御部会	N 化学
F 都市・交通部会 F1 都市・交通計画 F2 まちづくり	O 物理
G 情報部会	P 数学
H 土木部会 H1 土木構造・材料 H2 地盤工学 H3 河海工学 H4 環境工学 H5 土木計画	

表 3 理工学部学術講演会優秀発表賞

回	口頭	ポスター	計	回	口頭	ポスター	計
52	18	19	37	56	34	44	78
53	25	0	25	57	27	56	83
54	44	37	81	58	45	54	99
55	38	27	65	59	39	46	85

表4 理工学部学術講演会 特別セッション等（第50回以降）

回	内容
50	① 学術賞記念講演 学術賞「ワイドギャップ半導体の基礎物性と応用」，高瀬浩一（物理学科） 学術賞「音場の方向情報解析手法の開発」，羽入敏樹（短大・建設学科）
	② 人力飛行機用フライトシミュレータシステム
51	① 学術賞・教育賞記念講演 学術賞「脱窒能力を有するリン蓄積細菌の探索と低環境負荷型新規栄養塩除去プロセスの開発」，齋藤利晃（土木工学科） 学術賞「フェムト秒レーザーによる超高速スピン制御とダイナミクス計測」，塚本新（電子情報工学科） 教育賞「e-Learning を使った外国語学習支援システムの構築」，中川浩・郭海燕（一般教育）
	② 文部科学省教育改革 Good Practice
	③ Physics and Engineering on Quantum, Photonic, and Nano Technologies
	④ Young Researchers Session on Aerospace Technology
52	① 学術賞記念講演 学術賞「軟弱粘性土地盤の沈下予測手法の確立」，鎌尾彰司（土木工学科） 学術賞「住宅における床仕上げ材のかたさ感覚と振動応答物理量に関する研究」，富田隆太（建築学科） 学術賞「国際宇宙ステーションからのブラックホール探査」，根来均（物理学科）
	② 女性研究者紹介セッション～女子学部生に理工系大学院進学をすすめる講演会～
	③ 文部科学省教育改革 Good Practice
	④ 日本大学学術研究戦略プロジェクト「ナノ物質を基盤とする光・量子技術の極限追求 Nihon University, Nanotechnology Excellence – Nanomaterial based Photonic and Quantum Technologies -」
	⑤ 新潟県中越沖地震被害調査
53	① 学術賞記念講演 学術賞「宇宙用半導体デバイス開発に関する基礎研究」，高橋芳浩（電子情報工学科）
	② 女性研究者紹介セッション～女子学部生に理工系大学院進学をすすめる講演会～
	③ 理工学研究所特定テーマ「極限材料の最前線」
	④ 理工学研究所特定テーマ「自然エネルギーの高度利用」
	⑤ 文科省特色ある大学教育「未来博士工房」の活動
	⑥ 日本大学”N.”研究プロジェクト～ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追求～
54	① 学術賞記念講演 学術賞「脳情報処理を用いたヒューマンインターフェースの実現に関する研究」，高橋聖（電子情報工学科） 学術賞「高ベータ自己組織化プラズマの巨視的安定性および閉じ込め特性の積極的制御法の開発」，浅井朋彦（物理学科）
	② 女性研究者紹介セッション～女子学部生に理工系大学院進学をすすめる講演会～
	③ 文科省教育支援プログラム「気づかせ教育による社会還元力と学士力保証 —この学生

	<p>パワーを見よー」</p> <p>④ 理工学研究所講演会「建築・土木とその関連分野の研究と実務の最前線」</p>
55	<p>① 学術賞記念講演 学術賞「光ファイバを用いた構造ヘルスマニタリングシステムの開発」, 篠田之孝 (電気工学科)</p>
	② 理工学研究所講演会「東日本大震災復興支援研究プロジェクト」
	③ 文科省教育支援プログラム「気づかせ教育による社会還元力と学士力保証」
	④ 日本大学 N. プロジェクト ～ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追求～
56	<p>① 学術賞記念講演 学術賞「超対称模型と暗黒物質」, 二瓶武史 (物理学科) 学術賞「空気混入水流特性に基づく階段状水路の水理設計法の開発」, 高橋正行 (土木工学科)</p>
	② 理工学研究所講演会「東日本大震災復興支援研究プロジェクト」
	③ 文科省教育支援プログラム「気づかせ教育による社会還元力と学士力保証」
	④ 日本大学 N. プロジェクト ～ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追求～ 「光と物質の相互作用の最先端」
57	<p>① 学術賞記念講演 学術賞「ナノ電磁界シミュレーションによる光と物質の相互作用の解析」, 大貫進一郎 (電気工学科) 学術賞「噴霧乾燥法による組成傾斜型粒子の創製」, 遠山岳史 (物質応用化学科)</p>
	② 理工学研究所講演会「理工学部シンボリック・プロジェクト形成支援事業 (学部長指定研究) 中間報告」
	③ 理工学部プロジェクト研究成果報告
58	<p>① 学術賞記念講演 学術賞「鉄筋コンクリート造建物の損傷評価体系の構築とその応用」, 田嶋和樹 (建築学科) 学術賞「光学計測及び反応数値解析による予混合圧縮着火 (HCCI) 燃焼メカニズムの研究」, 飯島晃良 (機械工学科)</p>
	② 理工学研究所講演会「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」
	③ 理工学部プロジェクト研究成果報告・理工学部応用科学研究成果報告
59	<p>① 学術賞記念講演 学術賞「原子レベル成長制御によるナノデバイスおよび多機能デバイスの創成」, 岩田展幸 (電子工学科)</p>
	② 理工学研究所講演会「先導研究推進助成金キックオフシンポジウム」
	③ 理工学部プロジェクト研究成果報告・理工学部応用科学研究成果報告
60	<p>① 学術賞記念講演 学術賞「風が社会基盤の安全性・健全性に及ぼす影響の評価に関する研究」, 長谷部寛 (土木工学科) 学術賞「強相関電子系におけるフラストレート磁性の研究」, 渡辺忠孝 (物理学科)</p>
	② 理工学研究所講演会 第 60 回学術講演会記念シンポジウム「理工学部における研究の社会実装 —これまでとこれから—」

	I 熊本地震調査報告 II 2020 オリンピック・パラリンピックと東京の街づくり
	③ 理工学部プロジェクト研究成果報告・理工学部応用科学研究成果報告